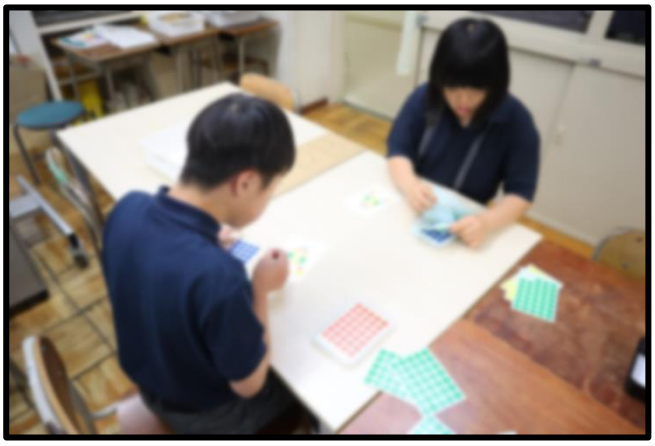
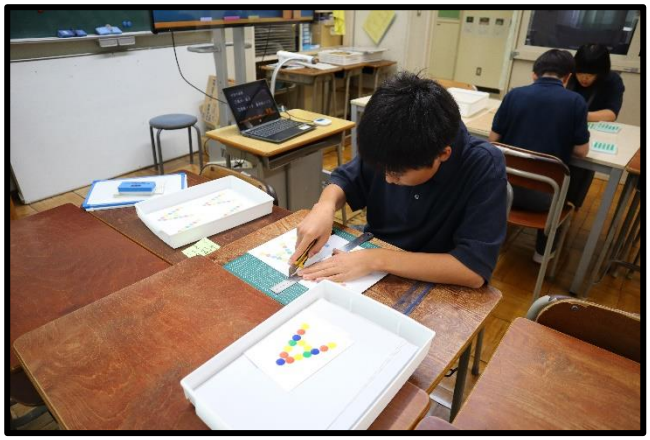
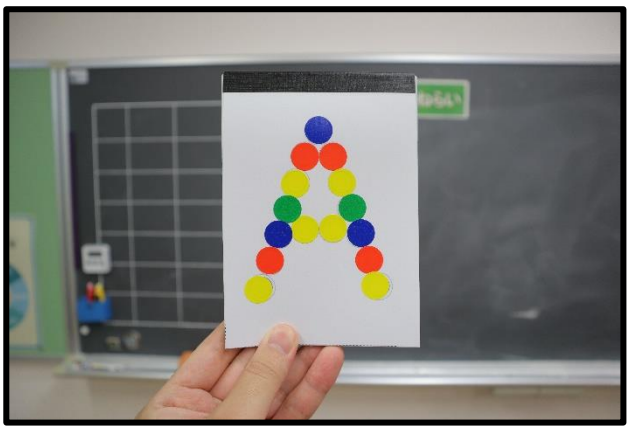
作業学習

Ａ組（特別支援学級）には、作業学習という授業があります。作業学習とは、生徒が実際の作業（農作業・工芸・職業的活動など）に取り組むことを通して、働く意欲や職業生活・社会生活での自立に必要な能力を育てることを目的とした指導形態です。作業そのものを「学びの中心」に据えることで、実践的な態度や基本的な技能、協力・責任感などを総合的に養うことができます。

現在、作業学習では「メモ帳作り」に取り組んでいます。作業は、①「表紙を作るグループ」②「紙を切るグループ」③「紙を色別に分けるグループ」④「束ねた紙を糊付けするグループ」の４グループに分かれて行っています。それぞれのグループが自分たちの役割に責任をもって取り組み、作業が終わると次のグループに完成品を引き渡すなど、本当の仕事のように協力しながら進めています。